



息長小学校だより

息長っ子

令和7年5月26日

第2号



<https://okinaga-e-maibara.edumap.jp/>



子どもたちの

自己肯定感と自己有用感を高めるために

「自己肯定感」とは、一人ひとりが夢を実現するために、ありのままの自分を認め価値のある存在として自分を肯定できる感情、そして、「自己有用感」とは、志を実現させるために、集団の中で大切な存在であり、社会のために役に立てる認める感情です。下の図は、『息長小学校「子どもたちが自分でつかむ自分の未来」プロジェクト構想ビジュアル図』です。これを基に、「自己肯定感」「自己有用感」を高め、「夢」をもち実現できる子ども、社会の中で自分を生かそうと「志」のもてる子どもの育成をめざしていきます。



学校教育目標を「夢をもち 心豊かに しなやかに生きる 息長の子」としました。夢が実現した時の自分の姿を思い描くことは、前向きに生きる原動力になります。また、予測困難とされるこれから時代を生き抜くためには、強い精神力のような「たくましさ」だけではなく、柔軟に対応する「しなやかさ」も必要になってきます。昨年度から子どもたちには「自分のよいところを見つけましょう」と機会があるごとに話してきました。ビジュアル図の中央に示したように、自分のよいところを自覚すると、ものごとを前向きに捉えられるようになります。周りから褒められ認められると、意欲的に行動できるようになります。さらに自分のよさのレベルアップをめざそうと意識が変わります。また、新たなよさの発見や苦手なことの克服につながっていくかもしれません。全体的に能力の底上げが可能となり、自信につながります。そして、折れない、しなやかな心が育っていくのです。順調に進むばかりではありませんし、時間がかかるかもしれません。しかし、子どもたちには、両隣に計画している様々な活動(主な活動のみ提示、他にも多くの活動があります。)を通して、この連鎖を成立してほしいと思います。豊かに他と関わりながら、心豊かに未来に向かって進んでほしいと思います。保護者の皆様と地域の皆様のご協力を得ながら、よい連鎖が続いていきますように、子どもたちを支え、励まし、導いていきます。どうぞよろしくお願ひします。

学校運営協議会の 皆様のご紹介



「地域の人の温かさに触れ、温かくてやさしい人に育ち、ふるさとのよさ

を知り、大好きになってほしい。」そして、「自分のよさ、友だちのよさを互いに認め合って、自分も友だちも、そして、みんなが集う学校も大好きになってほしい。」という願いを込めて、「**自分大すき 友だち大すき 学校大すき ふるさと大すき！**」を合言葉としました。今年度も、学校運営協議会委員の皆様や多くの地域の皆様とともに、「ふるさと学習」を行う予定です。今後も子どもたちの学習にご参加いただき、一緒に活動したり見守っていただいたりして、みんながすてきな時間を共有できますように、どうぞよろしくお願ひします。

第75回 すもう大会

土俵入り

1年生

2年生

3年生

4年生

5年生

6年生準決勝

6年生決勝

子どもたちは、4月から全力で相撲に取り組み、学年すもうや横綱決定戦でその成果を発揮することができました。今年度はどの学年の取組も熱戦となり応援席の方から、「どの学年も、相撲が上手になっている。」とほめいただきました。また、がんばっている友だちを全力で応援することもできました。勝っても負けても一生懸命に戦えたこと、友だちと応援したたえ合えたことなど、子どもたちのよさがきらりと光ったすもう大会となりました。すもう大会で経験したことが自信につながりますよう働きかけていきます。(5月23日)

5年生 田うえ

6年生 租税教室

2年生ほのぼのさんと種まき

地域の皆さんに教えていただき、手作業で田植えをしました。米つくりの大変さを体感しました。(5月22日)

長浜税務署の方に、税金がくらしにどのように役だっているのかを教えていただきました。(5月13日)

学校支援ボランティア「ほのぼの」さんと一緒にトマトやオクラなどの野菜の種を蒔きました。(5月1日)